

城端地域 会議録

件名	城端地域提言実現検討組織による第14回会議		
日時	令和2年4月9日（木）19時～21時	場所	城端庁舎2階 202会議室
出席者	検討組織メンバー：12名、まちづくり推進係：2名		
内容	・前回の振り返り、・3月19日視察研修の報告、・メンバーの藤井建築士からの提供資料について ・複合交流施設における新たな市民参加の取組の具体的な内容の検討		
概要	◆今回の会議の進め方、前回の振り返り（配布資料の説明）、今後のスケジュール確認について（●…メンバー発言、→…事務局発言） →今回の会議では、前回の振り返り、今後のスケジュール確認、3月19日開催の視察研修の報告、メンバーの藤井建築士からの提供資料の説明と意見交換、という内容で進めたいが良いか？ ●（全員）異議なし。 →前回会議では、メンバーの藤井建築士からの資料としてイメージ図があり、それについて意見交換がなされた。藤井氏から、今後の検討資料としてパース等を作成するために、会議メンバーを対象とした複合交流施設に対する思いを確認するためのアンケート実施の提案がなされ、実施することで皆さんの理解を得た。 それから、今後の会議の進め方として、本年7月までには住民との意見交換会を開催したい、とのご意見があった。また、市民主体で取組むものとして、庁舎の空きスペースを活用して試験的に取組むことを提案出来ないだろうか？というご意見があり、概ね賛成していただいた様子であった。このようなことも行いながら、地域の合意形成を図る方向で進めて行けば良いのではないかと考えている。 なお、地域の合意形成を図る場であった地域審議会が本年3月末で終了したことにより、それに変わる組織として、城端地域自治振興会連合会という組織があるとのことで、その組織で地域の合意を図っていけば良い、というご意見もあった。それを踏まえた上で、住民との意見交換会の開催については、城端地域全体で1度開催するのではなく、城端地域の各地域づくり協議会を回って1つひとつ丁寧に説明し、意見交換を行い、そして、最終的に、城端地域自治振興会連合会に臨むというプロセスが望ましいのではないかと、とのご意見であった。詳細は、資料1をご確認いただきたい。 ◆3月19日視察研修の報告（資料2）（●…メンバー発言、→…事務局発言） ※①：富山市大庄地区コミュニティセンター、②：射水市救急薬品市民交流プラザ →3月19日に、富山市の大庄地区コミュニティセンターと射水市の救急薬品市民交流プラザへ視察研修に行ってきたが、参加された皆さんからお一人ずつ感想などを伺いたい。 （川田氏）①は、2月に視察した富山市福沢地区コミュニティセンターでの反省を踏まえて建てられた建物と伺っていたが、建物のことよりも「仏作って魂入れず」を実感した。②は、改修にも関わらず清潔感がいっぱい、改修するのも悪くないと思った。今回の視察では、建物について議論する前に、まずはコミュニティづくりの重要性を感じた。そして、施設を利用する人の声を反映させるための実験が必要であると改めて感じた。 （清部氏）①は、住民の気持ちが萎えたような印象を受けた。②は、1階ホールの開放感が印象的だった。また、現在検討している複合交流施設については、各種団体の活動スペースの確保だけでなく、利用者や利用団体の声もどんどん取り込むべきだと思った。 （中島氏）①は、外から施設の中がある程度見える方が良いと思った。②の視察を受けて、現在検討している複合交流施設については、事務室機能はワンフロアの方が良いと思った。そして、改めて、平屋建てが良いと実感した。 （長谷川氏）①は、前回の視察研修からの期待が大き過ぎたのかもしれないが、それなりのスペースは確保されているものの、それが活用しやすいとは感じられなかった。折角の設備が活かされていないようであった。②は、予算との兼ね合いもあるが、改修でも質の高い内容に出来ると知った。特に、和室やキッチンスタジオは、その使い方をよく考えた上での設えになっていた。このことを踏まえて、現在検討している複合交流施設についても、それぞれの利用団体との協議や、にぎわいスペースや喫茶コーナーなどへの参入や取組意欲のある方との意見聴取の時間がそろそろ必要なのではないだろうかと思った。 （水上和氏）①は、自然光を上手に取り入れている工夫が良かった。図書スペースについては、自分たちなりの検討の必要性を感じた。②は、1階のふれあいホール部分の屋外		

との一体利用出来る設えが参考に出ると思った。

(水上成氏) ①の図書スペースは、あまり読まれなような図書が置いてあるだけのようで寂しく感じた。②について、市老人クラブ連合会や市心身障害者連合会など各団体の事務所が個室となっていた。使用料収入以外での事業収入を得るための工夫が必要であることを実感。現在検討している複合交流施設の運営は誰が行うのか、が1番の問題であろうと感じた。

(山崎氏) ①の、多目的ホールや和室については利用者の思いが入っていないように感じた。現在検討している複合交流施設については、仕掛けが必要で、ワクワクドキドキするような施設にしたいと思った。②では、既存建物の改修により、ワクワクドキドキする施設に生まれ変わらせることが出来ることを学んだ。そのためにも、地域住民との意見もどんどん取り入れるべきかと。現在検討している複合交流施設については、住民の意見に耳を傾け、地域ニーズに応じた施設にするべきと強く感じた。

(山瀬氏) ①について、ハコモノとしては非常に考えられているが、中身が入っていない印象を受けた。現在検討している複合交流施設については、①+図書館の規模があれば結構良い感じになると思った。②については、1階のふれあいホールの外側ガラス戸のサッシが平坦になっているのが良かった。やはり、新しい物を見たら、羨ましいと思ったし、そのことで活動の広がりの可能性も考えられそうだったと思った。

◆メンバーの藤井建築士から提供資料の説明

我々が普段設計する場合には、必ず施主から、今までの建物はどんな建物だったか、新しい建物はどんな使い方をしたいか、等の事前レクチャーを受けている。今回は、会議メンバーが多く、一人ひとりからの意見を伺うととても時間がかかることから、先日のアンケート実施により皆さんの思いを確認させていただいた。今回の資料は、このアンケートの集計によって作成させていただいたが、非常に限られた時間だったので、どんな仕掛けにするのか、どんな部屋の使い方にするのか、等の細かい部分は、現時点では全く考慮していないということをご容赦いただきたい。

建物の配置は、既存の城端庁舎の位置とほぼ同じにした。

アンケート設問1「複合交流施設の管理は誰がすべきか」

重要なポイントである。誰が、どんな管理をするのか、誰が管理費を支出するのか、建物の管理者をメインに据えて、平面計画図を作成した。「南砺市（市民センター）」が一番多かったので、入口から入って正面に市民センター機能を設置した。

アンケート設問2「主体構造に関して」

これまでの会議でも木造と鉄骨造とをミックスさせた形の意見が多かったが、アンケートでも同様の結果。その中でも、これまでの経験から、鉄骨造をメインに考えてみた。

アンケート設問3「階数に関して」

平屋造を希望する意見が多かった。仮に、2階造にするとエレベーターが必要になることから経常経費の増加が心配されるので、平屋造でも良いのではないかと考えた。但し、屋上からの眺望は諦めていただくことになる。

アンケート設問4「施設の重要度・重点度」

どの空間をメインにするのか？という設問であったが、「公共施設（庁舎・図書館・勤労青少年ホーム・美山荘等）」が一番多く、「コミュニティセンター」という意見も次いで多かったので、コミュニティスペースをメインにしてみた。

アンケート設問5「多目的室（ホール）の優先利用」

「会議」や「カルチャー」の意見が多かったが、実際の利用としても、教室やサークル活動及び会議が主になるだろうと想定して考えてみた。

アンケート設問6「特殊用途の優先利用」

全員一致で、図書館機能を第1優先にする、という回答だった。次いで多かったのは、「授乳・オムツ替室」と「カフェや食堂」だった。

アンケート設問7「避難施設の必要性」

回答にばらつきがあったので、今回、機能としては盛り込んでいないが、後々検討していただければ良いと思う。

アンケート設問8「屋外スペースについて」

「24 時間開放公衆トイレ」の回答が圧倒的に多かった。次いで「公共バス待合・休憩場」、その他は「地場産の直売所」「フリーマーケット」「資源回収集積場」「屋根付きテラス」が多かった。

これらのことを踏まえて、建物の玄関前にはテラスを設置し、バスの待合も兼ねた利用を想定した。また、先日視察した、射水市の救急薬品市民交流プラザの1階ふれあいホールを参考に、窓をオープンにして、フリーマーケットや地場産直売も実施出来る

ように想定した。24 時間開放公衆トイレは、バスの待合に隣接するイメージで、2 月に視察した富山市福沢地区コミュニティセンターを参考にしてみた。多目的室については、最大 3 室に仕切れるような設計をしたが、福沢地区コミュニティセンターのように電動間仕切りを設置してはどうかと思う。各部屋の廊下側はガラス張りとし、公共窓口スペースは可動間仕切りにすることも想定している。

◆意見交換 (○…藤井氏発言、●…メンバー発言、→…事務局発言)

→皆さんからのアンケートを基に、そして、視察内容も盛り込んで考えていただき、深く感謝申し上げる。間取りや外観について、意見交換を行いたい。

●城端勤労青少年ホームの事務室スペースは必要ないかと。但し、建物の貸室機能を管理するスペースは必要。美山荘機能はもっと小スペースで良いかと思う。市民センターや商工会城端事務所、社会福祉協議会城端支所の各事務室は、並べて、一続きのカウンターにすることは出来ないだろうか。市民センターとなっている入口正面のスペースを別の目的に利用すればどうだろうか。

●閉鎖的な印象を受ける。多目的室と向かい側の公共機能スペースの位置を入れ替えて、多目的室がじょうはな座側になるようにして、更に外側をガラス張りにしてはどうだろう。外や、カフェ、屋外テラス、多目的室を、大胆に一体利用出来ると、活動の幅が広がるのではないだろうか。

●建物全体を西側へ移動させてはどうだろうか？西側部分が空いていて、もったいないのと、そうすれば東側が広がるので、新しい取組等も検討出来るのではないだろうか。

●図書館スペースが狭すぎるのではないか。例えば、閉架書庫を地下や 2 階に設置して、この平面計画図の倍以上の面積を確保しないと、現在城端図書館で保管している資料は収まりきらない。

●現在の城端図書館をそのまま移動する訳ではないのだから、まずは、図書館の規模を決めなければならないのではないかと。現在の城端図書館よりも面積が小さくなることは十分に想定される。

●城端図書館の閉架書庫に保管してある資料を、例えば、中央図書館に移動して保管するというのは、以前の会議でのご意見にもあったように不慮の事故に遭い兼ねない。出来る限り、城端図書館で保管している資料は、城端で保管したいところである。そういう意味でも、図書館の書庫は貴重なスペースであることを、皆さんにもご理解いただきたい。また、サービスカウンターにしても、単に図書の受け渡しだけでなく、様々な作業をするスペースでもあるので、もう少し広くしてほしい。

●床面積は、現城端庁舎の 1 階の床面積とほぼ同じ位だろうか。新築ありきで検討しているのに、これでは、住民との意見交換会で「庁舎を改修して活用出来るのではないかと」言われかねない。もっと面積を減らした内容にしないといけないのではないかと。

○現在の城端図書館の床面積が 872 m²とのことだが、今回提案の建物の床面積が全体で 972 m²であり、これを更に小さくするとすると、図書館スペースをどうしたら良いものか。

●これからの人口減少や中央図書館との関係を踏まえると、図書館スペースは藤井氏提案の面積で我慢すべきではないか。但し、書庫の面積は足りないのので、別に書庫スペースを設ける必要はあるのかもしれない。

●先ほどご意見のあった、多目的室と公共施設機能とを入れ替えることに賛成。多目的室が外から見た方が、興味を持ってもらえるのではないかと。

●和室は、何のために利用するのかを検討する必要があるだろうが、和室も共用スペースとして使うと良いのではないだろうか。

○この和室の配置は、歌や三味線等の利用があるだろうから、図書館と出来るだけ離れたもの。

●共用スペース部分と公共窓口スペースとをそれぞれ一体化した方が、利用者にも分かりやすいし、使い勝手も良くなるのではないかと。

●美山荘で行われている、カラオケや健康マージャンについては、全く別の場所で行うことになるのか、それとも、この建物で確保するならばどのスペースになるのか、という検討も必要になるのではないかと。

●屋根は瓦葺きか？

○雪のことを考慮して、屋根は平坦な造りにした。瓦葺きにすると、どうしても現在の場所では雪捨て場の確保が必要になるので、敢えて雪を落とさないような造りにしてみた。

●建物の向きが東西になっているのを、南北にすると良いのでは。図書館は南側が良いと思う。また、じょうはな座と屋根続きにするのも一考かと。その屋根の下の活用方法もいろいろと考えられるのではないだろうか。以前に調査した、城端地域内の既存公共施

設の利用状況調査を基に、貸室機能については、本当に必要な機能かどうかを検討すべきでないだろうか。それこそ本当に必要なのは、飲食可能な大きなホールなのかもしれないのであって、そのような位置付けについても今後検討すべきと思う。

もう一つ考えなければならないのは、建物整備後の車やバスの動線である。じょうはな座との間の9mが適当なのかどうか。また、この資料のバスの待合からだ、国道の路線バスの停車が分かりにくいかと。建物の位置を国道側にすれば良いのか、あるいは、思い切ってバス停の位置を建物付近にすれば良いのか、ということの検討も必要ではないか。

それと、ソーラーパネルの設置が出来ないだろうか。

●この複合施設の管理費用を支出するのは市だと思っているが、市民センターに移行したら、夜間業務を行わないとの方針なので、そうすると現在検討している施設とじょうはな座との一体の管理体制で、じょうはな座の指定管理者による管理が良いのではないだろうか。

●じょうはな座の和室はもっと利用すべき。使用料の問題はあるが、特に、城端勤労青少年ホームの謡曲サークルの皆さんには気持ちよく使っていただけたと思っている。

●バス待合とバス停が離れているのは不便である。バス動線の工夫が必要かと。

●小さな会議室が必要なのではないかと。

●じょうはな座に部屋がいくつもあるから、そちらを利用してほしい。

●建物の配置については、先ほど意見があったが、T字型かL字型にして庁舎に隣接の郵便局に沿うように、バスが入って来られるようにすると良いのではないかと。

○国道側の既存のバス待合所はどうするのか？

●取壊すべきだろう。

→先ほど、じょうはな座と繋げるとのご意見があったが、じょうはな座のどの部分と繋げることをイメージされているのか？

●じょうはな座の2階と現在検討している施設とを渡り廊下で繋ぐことをイメージしていた。

○そうすると、平屋建てではなくて、2階建てになるが、それでも良いのか？

●ところで、現在検討している複合交流施設の使用料はいくらぐらいになるのか？たくさん部屋があっても、使用料がこれまでの施設よりも高いと利用してもらえないと思うが。

●城端勤労青少年ホームの使用料と同額になることはないだろう。

→基本的には、使用する部屋の面積に因ることになるのではないだろうか。

●現在の城端庁舎と余り変わらない印象。もっと風通しの良い空間にならないだろうか？

○仰ることは十分理解出来るが、敷地が限られていることから制限されることは多い。

●バス待合所は本当に必要なのだろうか？既存建物で足りるのではないかと。

●路線バスが、建物の玄関先まで来るようになるのは避けてほしい。玄関先のスペースは、歩行者が居ても、子どもたちが走り回っても差し支えないような程度の広さは欲しい。

○その点については、高齢化に伴う公共交通の必要性を考慮したもの。

●バスは絶対に必要だと思う。デマンド運行も今後検討しなければならないだろう。

●バスの動線については、もう少し検討する必要があるかと思う。

○多目的室を外から丸見えにして、本当に良いのか？見られたくない教室や利用者もあるのではないかと。

●多目的室は、外から見えなくても良いと思う。図書館や多目的室の配置を変えたら、仮に、多目的室がガラス張りでも、差し支えないのではないかと。そして、大きいホールを希望するという意見もよく聞く。

●この建物での、選挙の期日前投票所や確定申告期間中の税務相談などについての利用も想定しておかなければならないと思っている。広さとしては、福野体育館の会議室ほどをイメージした方が良いだろうか。

◆次回に向けた宿題提示 (●…メンバー発言、→…事務局発言)

→この建物を活用して、どんなことをすれば良いのか、いつ、誰が、何を、どのように取り組むのか、について、配布した提案書シートを基に考えて欲しい。前回会議でも提案があった、城端庁舎の空きスペースを活用しての実証実験についても、考えてほしい。庁舎利用の可否については、打診はしてあるが、具体的な利用について提示しないと判断出来ないとのことであった。自分が取り組むものだけでなく、この人にこんな事をやってもらいたい、この取組についてあの人を中心に話を進めたい、というような内容でも結構。次回会議に提出いただきたい。5月中旬までには、この建物でどんなことをするのか、しっかり議論して決めなければならない。

●この提案書は、自分の出来ることを書けば良いのか？あるいは、誰か実践者を連れてく

るような内容で書けば良いのか？

→どちらでも良い。

●栽培された野菜を軽トラで販売されるのはどうか？

●ホールを使って、大宴会しよう！というのでもいいのでは。

●以前から、資源回収をやりたいとの意見があったが、城端地域全体を対象にするとかなり大変であるから反対である。各地区での取組に留めておいた方が取組みやすい。大鋸屋地区で取組んでいるゴミステーションには、頻繁に大量の資源ごみが持ち込まれていて、その対応に苦慮している。

●城端地区を対象にしたいと思っているが。

●城端地域全体のことを議論しているはずなので、ここの会議で、旧町のことまで議論する必要はない。この建物にゴミステーションを設置することには反対。まして、城端全体を対象とする取組には猛烈に反対である。

◆次回会議

日時 …令和2年4月23日（木）←中止します。

場所…城端庁舎2階 202会議室

内容…複合交流施設における新たな市民参加の取組の具体的な内容の検討

宿題…具体的な市民参加の取組検討（提案書）、または、具体的な市民参加の取組検討（空いた庁舎を活用した、事業化のための実証実験提案書）を各自作成し、次回会議に提出する。

城端地域提言実現検討組織

第14回会議 R2.4.9(木)

◆本日の内容◆

1. 資料の説明 (前回会議の振り返り)
2. 3/19 視察研修の報告
3. 藤井建築士からの資料の説明

◆ 3/19 大庄地区コミュニティセンター
救急薬品市民交流プラザ 視察報告

川田さん・外と内の雰囲気が見違!

大庄

・福沢よりも良い建物となっている
はずなのに、愛されていない感じ...

・図書スペースは悲しい...

・地域の人とのつながりが薄いと感じた。

救急

・改修も悪くない! 清潔感いっぱい。

・利用者同士の交流はイメージできなかった。

全体

・建物の前にコミュニティづくりを!
・使う人の声を反映させるべき

清部さん

・明るかった

大庄

・住民の気持ちのなごみのような
イメージもあった。

救急

・場所取りだけでなく、利用団
体の声もどんどん取り込むべき。

全体

・この会議の検討を城端全体に
そろそろ広げるべきかと。

中島さん

・ある程度、中が見える方が
良いと思った。

全体

・改めて、平屋が良いと思った。

長谷川さん

・資源回収の工夫 ステキ
易い。出す人が分かりやすい。

大庄

・福沢ほど、なるほど、と感じる点
少なく感じた。利用者・住民のじ

・使う人の思いを入れた設え(良)

救急

・大小様々な会議室が共用でき
るところ参考にしたい。

・改修でも、レベル高いものにできると
実感した。

全体

・利用団体との話し合いの時間
そろそろ必要かなと。城端⑭/4/9 ①

水上 和也

大庄

救急

- ・自然光とうまく取入る工夫良かった
- ・図書スペースは自分たちなりに検討(要)
- ・内と外が一体的に利用できる設えも良いのかも。

山崎 さん

大庄

救急

全体

- ・多目的ホール、和室は利用者の思いが入っていないよう。
- ・自分たちでは、ワクワク、ドキドキする仕掛け考えた。
- ・改修により、ワクワク、ドキドキする施設に出来ることと学んできた。
- ・地域住民の意見もどスどス取入れるべき。
- ・土足で出入り(良)

水上 成さん

大庄

救急

全体

- ・図書スペースは本が置いてあるだけ。
- ・各団体の部屋が個室となっていた。
- ・使用料収入以外の事業収入の工夫が必要であること実感
- ・誰が運営するのか、悩ましい...

山瀬 さん

大庄

救急

- ・ハコモノとしては非常に秀でているが、中身が入っていない印象
- ・城端としては、大庄+図書館があれば、ベストorベターなのかも。
- ・ホールとロビーが一体になるのが良かった。

◆ 藤井建築士からの資料の説明 ◆

① 複合交流施設の管理者

「南阿蘇市(市民センター)」が1番多かったのも、入道から入って正面に、市民センター機能を設置した。

② 主体構造

鉄骨造をメインに。木造とのミックスの回答(多)

③ 階数

平屋造(多)

④ どの空間をメインにするのか?

- 1位... 公共施設(庁舎、図書館、ホーム、美山荘)
- 2位... コミュニティセンター ← メインにした。

⑤ 多目的室(ホール)の優先利用

「会議」、「カルチャー」(多) ← 現実的だろう

⑥ 特殊用途の優先利用

「図書館機能」が全員一致。授乳、オムツ替え

⑦ 避難施設の必要性

カキヤ食堂 → 今回は入っていない。

⑧ 屋外スペースについて

- 1位... 24H開放公衆トイレ
- 2位... 公共バス待合所・休憩場

(多) 地場産の直売所、フリーマーケット
資源回収集積場、屋根付テラス

城端(多) (多) (2)

- ・勤労青少年ホームの事務室スペースは不要か。
建物の貸室機能と管理するスペースは必要。
美山荘機能はもっといスペースで良いかと。
- ・市民C、商工会、美山荘は並べて、一連の
カウンターで。

- ・閉鎖的に見えるな...

多目的室をじょうはな座側へ、ガラス張り
にして、カフェや屋外テラスと一体利用できる(良)

- ・閉架書庫の面積を倍以上にしないと、
現在の資料も入れておけない。
- ・囚の規模を決めないと、面積も決められない。

- ・現方舎1Fの床面積とほぼ同じ位か。
「方舎を改修して～」と言われかねない。
もっと面積を減らさないとダメではないか？

- ・貸室スペースは外から見える方が、興味をそそ
られるかと。

- ・和室をどんな風にするのか

- ・カラオケ、健康マージャンはどこにするのかな？

▶ 屋根はフラットイメージ、雪おろし場の問題

- ・東西の向きを南北に。
囚は南側

飲食可能なホールの位置づけもアリか。

車の動線 (市営バス、じょうはな座への車
加越能バス)

じょうはな座と屋根つづきにするのも一考かと。
ソーラーパネル 何かならんかな～

- ・じょうはな座と一体の管理体制が良いのかも。
- ・じょうはな座の和室はもっと使うべき。
↳ホームの謡曲の皆さんに使ってほしい！

- ・じょうはな座の2Fと 渡り廊下をつないで？

▶ 平屋ではなく 2F 建になりますよ

- ・複合交流施設の料金はどうか？

(設置目的もあるだろうが、
基本的には面積によるのでは。)

- ・これでは、現方舎とかわらない。
もっと風通しの良い空間にはならないか？

▶ 方舎敷地が限られている

- ・バスが玄関先まで来るのは代だな～。
- 子どもたちが走り回っても大丈夫な位のスペースほしい。

▶公共交通の必要性も考慮したもの。

- ・バスは絶対必要だも。
- ・多目的室は見えなくても良い。
- ・大きいホールを望む声も良く聞く。

宿題 具体的な市民参加の取組

- ・実証実験提案書
- ・提案書

次回会議に
提出して下さい。

次回

4/23(木) 19時～

202 会議室

件名	城端地域提言実現検討組織による第13回会議		
日時	令和2年3月17日(火) 19時～21時	場所	城端庁舎2階 202会議室
出席者	検討組織メンバー：12名、まちづくり推進係：2名		
内容	・前回の振返り、 ・これまでの検討の振返り、 ・メンバー藤井氏からの提供資料について ・複合交流施設における新たな市民参加の取組の具体的な内容の検討		
概要	◆今回の会議の進め方、前回の振返り、これまでの検討の振返り(資料2)について (●…メンバー発言、→…事務局発言) →前回会議では、①施設利用者アンケートの報告、②城端地域内施設利用状況調査の報告、③2月12日視察研修報告、メンバーの藤井氏からの資料説明、があった。 ①施設利用者アンケートの報告では、利用料金のこともあるが、施設の利用調整をすれば、既存施設で十分足りるのかもしれない。公衆浴場の代わり無し、との意見が多かった。アンケートの目的でもあった、城端の賑わいやまちづくりについて関心を持っていただけたことはある程度達成出来たのではないだろうか、ということであった。 ②については、施設の利用状況から見ると、それぞれの利用団体の活動内容を踏まえて調整すれば、既存施設で十分足りるのかもしれない、ということが分かったということ。また、③富山市大山地域の福沢地区コミュニティセンターへの視察では、Living Art(リビングアート)という取組を通して、施設が学生や地域の方とつながって、地域を盛り上げていく仕組みを学んだ。また、県産材を利用してメンテナンスには手間が掛かるが、その手間も活動の1つとしていることなども、今後の検討に非常に参考になった。次は、同じ大山地域の太田地区コミュニティセンターを是非視察したいとのことで、計画中である。 ④これまで会議で出された意見や資料などを基にして藤井さんが作成された機能のイメージについて、皆さんの思いと合っているかを確認していただいた。 また、資料2については、この会議がどんな組織か、どんな進め方をするのか、などをA4用紙1枚にまとめたもの。これまでの検討の流れなど、参考にさせていただきたい。 ◆メンバー藤井氏から資料の説明(資料3)、意見交換 (○…藤井氏発言、●…メンバー発言、→…事務局発言) ○資料3中、丸形はソフト事業、四角形はハード事業を示している。私は、このハードの部分で、平面的、あるいは立面的な図面が描けたら良いと思っており、そろそろ形にしたいとも思っている。この丸形全てを四角形に入れ込むと面積が大きくなり過ぎて、お金が掛かり過ぎる。皆さんの思いをどのようにまとめるか、機能的に兼ねられる部分はどこか、等もう少し考える時間が欲しい。 城端庁舎、城端勤労青少年ホーム、城端図書館、城端老人福祉センター美山荘のどの施設も建設後40年経過している。人口減少、少子高齢化による税収増加が見込めない中で、維持管理費用の捻出が困難なことは、この会議を通じて私も自覚している。会議メンバーの考え方や意見を網羅した内容にするには、費用的にも難しい。このような状況を踏まえて、入れたい機能や具体的な空間イメージなどについて、会議メンバーの皆さんを対象に私なりのアンケートを実施したいと思う。①前回会議でも意見があったが、現在検討している複合交流施設と公共交通とのセットで考えたい。地域生活拠点施設としての機能や屋外スペースの広さ、多世代交流など、施設の拠点性の向上を目的として、「ひとづくり」「まちづくり」「文化・伝統の継承」が出来るような、拠点づくりとしての内容。②多目的ホールとして、様々な用途で利用出来る機能が必要かどうか。③公衆浴場や体育館の機能が必要かどうか。既存施設をシャトルバスやなんバスとの接続により解消出来るのではないかと。④避難施設としての機能の必要性。避難所や備蓄室の導入など。⑤市民センター機能。などの内容のアンケートと資料を作成し、回答をまとめて、イメージ図にしたい。これをたたき台にするために、次回会議に提案したいと思っているので、次回会議前にアンケートを実施したいと思っている。皆さんから了解が得られれば、進めたい。 ●この資料の中で、商工会城端支部の機能に観光協会城端支部の機能を合わせたもので表してほしい。現在、観光協会の本部に、観光協会城端支部が併設されているが、その城端支部がすっかり本部に埋もれてしまっているように思う。商工会城端事務所も同様である。観光協会城端支部の職員の方には、普段は、コンシェルジュとして、こちらの建物に詰めていただくようになると良いのだが。総合案内だけでなく、お土産なども販売してもらえると良い。正式に了解を得ている訳ではないが、協力は必要だろうとの返事を1年以上前にもらっている。商工会城端事務所も観光協会城端支部も、通常はこちら		

の建物に詰めて、イベント等の時には応援に行くような形態が望ましいと思う。この資料にある「起業家支援センター」を「商工会、観光協会」と置き換えるとイメージしやすいだろうか。商工会城端事務所も、地元でもっと活躍して欲しいと思う。

なお、城端まちづくり協議会は、商工会城端事務所が引っ越した後の商工会館へ入っていただくことが望ましいと考えているので、併せて修正していただきたい。

- 資料2のフロー図にある1つひとつの項目についての期限等を聞かせてほしい。一生懸命に検討を重ねている割には、検討が進んでいないような気がする。
- 仰るとおり。城端庁舎が行政センターのみとなる7月前には、一定の方向性を住民に示す必要があるだろう。庁舎が市民センターのみとなる7月までには、ある程度の概略を決めてはどうだろうか？
- 行政からの動きを待っていても時間ばかり経過するので、資料2のフロー図にある「市民主体で取り組むもの」の部分については、入れたい機能や何処であっても取組めることはあると思うので、庁舎機能が移転した後の庁舎の空きスペースを活用して、試験的に取組んでみるということを提案出来ないだろうか？
- 正にそのとおりである。まだ、3か月はあるから、私たちに託された任務を遂行すべきであろう。

→7月には庁舎が統合されるので、その後のこの庁舎の活用や城端地域の賑わい等について、どのような方向になるのかを住民の皆さんにお示しすべきであることは、以前の会議で何度も説明してきた。

この会議は、資料2のフロー図では、「提言の実現に向けた具体策の詳細について検討」の中ほどにある「まちづくり検討会議のメンバーを中心とした行政主体の検討組織」に当たる。また、各地域の地域審議会が3月末で廃止となることから、城端地域としては、5地区あるので各地域づくり協議会長に、地域としての合意を得たら良いのではないかと考えている。

- 城端地域には、地域審議会と同様のメンバーで構成する城端地域自治振興会協議会という名称の、地域審議会とは別の組織がある。この組織が地域に認知されているかは別として。

→その点についても、住民との意見交換会の場で説明し、了解を得ていけば良いのかと思っている。

先ほど藤井氏からの提案のアンケートについては、実施しても良いか？

- イメージ図作成につながるのであれば、是非実施してほしい。
- （全員）異議なし。
- 次回会議で結果が分かるようにして欲しい。検討のピッチを早めたい。

○それでは、後日実施予定の視察の内容も踏まえて、アンケートは早々に用意したい。

→それから、先ほどご提案の意見があった、庁舎の空きスペースを活用して、試験的に取組については、皆さんはどのようにお考えか？

- 例えば、週末カフェ、ブック・マンション、子ども対象の取組、等、あまりお金を掛けずに取組めるのではないだろうか。
- 良いことかと思う。是非取組んでいただきたい。
- （全員）賛成。

→庁舎の活用については、現時点では、市民団体や民間への貸出は出来ない運用となっている。

- この取組から、小さな成功を積み重ねて、城端地域の賑わいづくりにつなげたいと思う。
- 4月1日以降の城端庁舎はどうなるのか？地域の皆さんから、よく尋ねられる。

→城端庁舎の2階のブランド戦略部は、6月末頃に引越し予定である。行政センターは、7月1日に市民センターとなる予定。また、7月1日からは夜間警備がなくなるので、市主催の会議では、会議を主催する課が会議室の鍵を持ち出し、開錠して使用する、という運用になる予定と伺っている。

そして、この会議として、今後どうしていくかについては、藤井氏からのイメージ図が示されれば、そこでどんな活動を行うのか、ということも同時に決めていかなければならない。今日の会議での皆さんのご意見も伺った上でまとめたいとのことである。

先ほどの、現庁舎を活用した取組内容の検証についてのご提案を受けて、今日の会議では、新たな複合交流施設でどんなことをするのか検証するという内容も含めて、どんな取組が出来そうか、等の話し合いをすれば良いだろうか？

- 藤井氏からのアンケートを実施した上でのイメージ図を見せてもらわないことには、そこでどんな活動をしていこうか、という議論は出来ない。

→あくまでもイメージ図。但し、例えば、エコステーションをやりたいというのであれば、具体的に必要なスペースは、実際に取組んでみないと分からないところである。なので、複合交流施設をどのように使っていくかを検討する上で実験的に取組むことは必要で

はないだろうか。取組内容のイメージをしっかりとしたものにすると思いと思う。

●住民との意見交換会を開催した時に、前回の会議のように、まちづくり検討会議や提言、この会議や城端のまちづくりについてなど、を初めて聞かれる方もおられるだろうから、まちづくり検討会議からの経緯から説明出来るように、今から準備しておけばどうか？丁寧に説明する必要があると思う。

●その点は事務局にお任せするしかないだろう。住民との意見交換会では、その部分に時間を費やすのは避けたいところ。

●昨年の検討、今年の検討、というように分けて説明し、この結論に至った、という具合に、事前説明をすれば、住民との意見交換会の折には、ある程度の質問を想定した上で参加してもらえないのではないだろうか？

●住民との意見交換会を、城端全体で一度に開催するのが良いか？あるいは、城端地域内5地区を巡回して開催するのが良いか？それとも、まず、5地区で巡回開催し、そこでの意見を資料に反映させて、再度城端地域全体で開催し、最終案として提示する、という流れでどうだろうか？最初から一度に決めようとするから無理があるのだろう。

●そこら辺の段取りも含めて、準備してはどうだろうか？

●仰るとおり。

●それなら、ワーキンググループに分かれて検討を進めてはどうだろうか？例えば、今ほどご意見のあった、資料作成グループと取組検証グループの2つなど。

→資料作成を事務局で行うことも不可能ではないが、資料の、どこを、どんな風に説明したい、などのご意見を聞かせていただきたい。また、6月中に住民との意見交換会を開催する方向でのスケジュールも皆さんで決めていただきたい。

●各地区で顔が見える環境で開催し、その後城端地域全体で開催の折には最終案で説明する、という流れが良いのかもしれない。

→5地区巡回の前には、城端地域の各地域づくり協議会長の皆さんにもお伺いする必要はある。

●6月中には住民との意見交換会を開催しなければならないから、余り時間がない。

→5地区巡回開催もあるから、その点も含めなければならない。

●城端の住民の皆さんには、既存施設の活用についても訴えていかなければならない。その一方で、施設整備もしていただきたいところである。

●既存施設の利用の可能性を伝えていくと、住民の理解も得られやすいように思う。

●先日実施した、施設利用者アンケートは良かった。アンケート実施期間中に、私の所属する団体で美山荘を利用したので、アンケートの記入に併せて、提言のことやこの会議での検討内容などを、団体のメンバーにお話させてもらったことが非常に良かった。住民の皆さんへの意識付けとして、私たちメンバーが提言のことやこの会議での検討内容などを伝えていくことが大切だと実感した。

●前回会議でも話したが、5地区で実施の教室やサークル活動の今後を見据えて、この複合交流施設が生涯学習機能の拠点になることも踏まえ、教室やサークル活動の出来る部屋も備えておくべきではないだろうか？

○それは、サロンのことを仰っているのか？

●高齢者サロンではなく、従来の公民館での教室等の活動のこと。

●既にJOYがあるのだから、JOYの活動の妨げになってはならない。

→今のご意見のように、建物のスペースを確保するだけでなく、そのスペースでどんな活動をやりたいのかを決めてもらわないとならない。何が充足していて、何が不足しているのか、ということまでをこの会議で議論していかないと、まちづくり検討会議の時と全く同じである。スケジュールも大事、複合交流施設でどんなことをするのかも大事。この2点に絞って議論していただきたい。この議論も資料に反映させたいと思っている。

7月に向けて、①城端地域全体、5地区巡回、各地域づくり協議会長さん方への説明をどんなスケジュールで行うのかを決めてもらうこと、②複合交流施設でやりたい取組や現庁舎を活用して実験したい事柄など、この2点について話し合っていたきたい。せっかく2グループに分かれているので、そのままグループ毎に話し合っていたきたい。

●後日視察予定の大庄地区コミュニティセンターでの内容も盛り込んで欲しい。

●この複合交流施設での取組内容を決めたところで、実際に実践者はおられるのか？私は、実践者は見つからないと思うが。

→もし、実践者が見つからなければ、その機能は複合交流施設から外すだけのこと。せっかく整備しても、活用されない様子であれば、整備する必要がなかった、という話になる。どんな機能が必要なのか、どんな取組を行いたいのか、誰がその実践者になるのか、その取組は外部から実践者を連れてきてでもやりたいことなのだ、というようなところ

- までをこの会議で決めないと、せっかくの提言は実現しない。
- 議論も大切だが、取組の検証をしてみないことには施設の機能に盛り込むことは出来ないと考えている。先ほども言ったように、小さな成功体験を積み重ねて、提言実現に向けて進みたいと思う。どんなことに取組むのか、という議論は、今後もずっと続くことである。この少しずつの取組に向けた話し合いを大切にしたい。
 - 複合交流施設に資財を投じて、普通に生活出来るほどに稼ぐ、というような取組は城端には馴染まないかと思うが。
- いろいろな取組が継続していくような仕組みが必要である。
- 取り敢えずは、複合交流施設には、建物を取壊す予定の施設の機能を5つ程度入れておいて、実践者が必要な取組は実験をしながら進めていけばどうだろうか。
- 先ほどのご意見のように、こんな取組をやりたい、あの人を呼んでこんな取組をやりたい、ということをお話してほしい。また、この人を中心に話を進めたい、というご意見があれば教えて欲しい。その辺も含めて、しばらく話合っていたきたい。

◆グループ別意見交換 (●…メンバー発言、→…事務局発言)

城端地域の今後の会議等のスケジュール（6月中に合意形成を図ることを想定した場合）			
	時期	会議等の内容	
3月	19日（木）	富山市大庄地区、射水市視察研修	
	23～	メンバーへのアンケート作成	
	25日頃	メンバーにアンケート発送	
	月末頃	アンケート回収	
4月	4月1日～8日	アンケート結果確認、建築パース作成	
	9日（木）	検討会議（建築パース提示、具体的な市民参加の取組検討）	
	23日（木）	検討会議（具体的な市民参加の取組検討）	
5月	連休明け	検討会議（具体的な市民参加の取組検討）	
	18日の週	検討会議（具体的な市民参加の取組検討）	
	25日の週	検討会議（意見交換会での説明内容・回答のシミュレーション）	
	月末頃	城端地域自治振興会協議会への検討内容説明、意見交換	
6月	1日の週	検討会議（意見交換会での説明内容・回答のシミュレーション）	
	日（ ）	8～19日	城端地区
	日（ ）	5地区の地域づくり協議会への 検討内容説明、意見交換	南山田地区
	日（ ）		大鋸屋地区
	日（ ）		養谷地区
	日（ ）		北野地区
	22日の週 前半	検討会議（意見交換会での説明内容検討、回答シミュレーション）	
	22日の週 後半	城端地域全体の地域住民への検討内容説明、意見交換	
	月末	検討会議（意見を踏まえた検討結果を要望書案としてとりまとめ）	
	月末	城端地域自治振興会協議会への説明、地域としての合意形成	
7月	上旬	要望書として市長へ提出	

◆次回会議

日時…令和2年4月9日（木）午後7時から
場所…城端庁舎2階 203会議室
内容…複合交流施設における新たな市民参加の取組の具体的な内容の検討

◆次々回会議

日時 …令和2年4月23日（木）
場所…城端庁舎2階 202会議室
内容…複合交流施設における新たな市民参加の取組の具体的な内容の検討

令和2年3月19日 富山市立大庄地区コミュニティセンター

1. 富山市「大庄地区コミュニティセンター」で印象に残ったことは？**●よかったところ**

- 壁に囲まれた閉鎖空間とおもいきや、中に入ると明るく広く、庭があつて開放的。
- 木材がふんだんに使われ、気持のよい建築物だった。
- トイレや玄関に利用者さんが持ち寄ってくださる（公民館主事さんの話）季節の花々が飾られていて、和んだ。
- 仏作って魂入れずを実感出来た。

●よくなかったところ

- 建物の不具合が、修繕されていないこと
- 人の気配が（作品が飾られていたり、人の手が加わっているとく気配）あまり感じられなかった。
- 特に図書スペースが、全集や古い本で占められていて、人の手が入っていないかんじだった。
- 地域の人々とのつながりが薄いということが、様々に感じられた。

2. 射水市「救急薬品市民交流プラザ」で印象に残ったことは？**●よかったところ**

- 古い建物を改修した部分も、増築された部分に遜色ないほど清潔感があつた。
- 段差や、視覚、聴覚の障がいへの配慮が、行き届いていた。
- 和室やキッチンに、使う人の目線が活かされていた。
- 屋上が使えるようになっていて、ワクワクした。
- どこも広々としているように見えた。

●よくなかったところ

- イベントがある日以外は、用事のある人しか来ない感じがした。

3. 視察を通して、今後の具体的な取り組みの検討に是非取り入れたいことについて、その内容と理由をお聞かせください。

- 新しいコミュニティづくり
福沢と大庄の大きな違いは、地域のコミュニティとの関わりかたにあると思った。
建物が立派でも、中身がないと寒々しい。だから、地域の人々に必要とされる場所になるよう小さなことからでも、コミュニティづくりをしかけていくといいと思う。
- 声を反映させるための実験
また、たとえば和室で、（和室がいるという意味ではない）3箇所の和室をみて明らかなように利用する人の声が反映されていることは重要だと思う。
ここでも、実際に場を使う人の声が反映できるように、実験的に活動をしてみるといいと思う。
- 地域住民との共有
それぞれ建物を建てる目的が異なっているので、それぞれ相応しい建物なのだろうと思った。
城端地域も、諸条件を鑑みて、少なくともメンバーが同じようなイメージを共有し、
おおむねの地域住民の方々にも共有して、ワクワクしていただけるようになるといいなと思う。

令和2年3月19日 富山市立大庄地区コミュニティセンター

1. 富山市「大庄地区コミュニティセンター」で印象に残ったことは？

●よかったところ

☐ 室内が明るい。

●よくなかったところ

☐ 市からの補助金で運営されているので、自主財源ゼロ。
これでは、住民は何も考えられない気がする。

2. 射水市「救急薬品市民交流プラザ」で印象に残ったことは？

●よかったところ

☐ 外に向かって開放できるホールは、使い勝手が良さそう。
☐ テーブル椅子が公共スペースにさりげに置かれていたのもいい。

●よくなかったところ

☐ 各種団体が連携できる仕掛けが見つからなかった。

3. 視察を通して、今後の具体的な取り組みの検討に是非取り入れたいことについて、その内容と理由をお聞かせください。

☐ 入居予定団体のキーマンに構想段階から参画してもらったほうが、開設後スムーズに連携できるのではないかな？
☐ 城端在住の行政マンになんらかの形で関わってもらうよう働きかける。
☐ 提言書を実現させるための組織だから、粛々と…ではなく、そろそろオオゴトに

令和2年3月19日 富山市立大庄地区コミュニティセンター

1. 富山市「大庄地区コミュニティセンター」で印象に残ったことは？

●よかったところ

○全体として、大庄地区の富山市・旧大山町のなかでの、位置づけがわかった。

旧大山町（地域）としては、別に図書館・福祉センター（お風呂）があり、視察施設は地区公民館と地域づくり拠点。

延床面積が1,055㎡で、福沢地区(613㎡)より広いが、多目的ホール（193㎡）と大・小会議室（87㎡）よりも、福沢地区のホール（3室・166㎡）のほうが利用価値があると思えた。

和室については、15畳であれば設置の必要性はないと感じた。

住民に開かれた施設とするためにも、外から施設の中が全く見えない（窓もない）ということがないほうがよいと思う。

●よくなかったところ

2. 射水市「救急薬品市民交流プラザ」で印象に残ったことは？

●よかったところ

○そもそもにぎわいを目的とした施設ではないので、2階の社会福祉協議会、商工会、老人クラブ連合会などの部屋割りは別々でよいが、城端での施設は区切ることのないワンフロアのほうがよいと思う。

●よくなかったところ

3. 視察を通して、今後の具体的な取り組みの検討に是非取り入れたいことについて、その内容と理由をお聞かせください。

○福沢地区、大庄地区、2つの施設を見させていただいたが、ともに平屋建てであり、城端の複合施設も平屋建てにすべきと思う。

令和2年3月19日 富山市立大庄地区コミュニティセンター

1. 富山市「大庄地区コミュニティセンター」で印象に残ったことは？

●よかったところ

- 資源や食用廃油の回収拠点としての工夫が見られた。
区分け・注意・処理の仕方・回収品の種類等 ◎出す人の立場に寄り添う
- 事務所が広い。カウンター設置で対面スタイルが整い、隅に椅子・テーブルがある
- エントランスが広くてよいが土足禁止はいかがか？

●よくなかったところ

- 期待が大き過ぎたのか、それなりのスペースは確保されているが、活用しやすいとは感じられない。
折角の設備が生かされていない（例：展示スペースが空っぽ）
- そこにいる人の施設に対する熱意は知らず知らずのうちに現れると感じた。

2. 射水市「救急薬品市民交流プラザ」で印象に残ったことは？

●よかったところ

- いろんな利用者の事を考えて、随所に工夫。ホールと駐車場等のバリアフリー化により、誰でも参加できる
イベントがイメージできる。
- 和室やキッチンスタジオには、使い方を考えて必要とするしつらえになっていた。
要るか要らないかは、どう使うかによって異なると知った。
- 会議室が各種あったが、聴覚者用の緊急情報が流れるシステム等素晴らしい！
- 入居団体の事務所が独立、会議室は規模に合わせての共用は参考になった。
- 一部改造と言われても信じられないほど、細やかな気配りのきいた施設でした。

●よくなかったところ

- トイレ内個室が少ないような印象（ホール近くのトイレ確認せず）

3. 視察を通して、今後の具体的な取り組みの検討に是非取り入れたいことについて、その内容と理由をお聞かせください。

- ア、一番の印象は、救急薬品市民交流プラザを見たことで、改築改修であってもレベルの高いものができると知ったこと。予算との関係が大きい。
- イ、城端の新施設も、複数の利用団体が一緒に使うことになる。
それぞれの団体の皆さんと一緒に協議する時間もそろそろ必要。
- ウ、私が今後できるとしたら資源回収等のお手伝いと勝手に思っており、施設見学でも関心が向く。
それを思うと、3月17日の会議でも提案されていたが、にぎわいスペースや喫茶コーナーなどの
参入意欲のある方についても話を広め、意見を聞いていくことも必要ではないでしょうか？
（完成間もなく改修工事とならないために）

令和2年3月19日 富山市立大庄地区コミュニティセンター

1. 富山市「大庄地区コミュニティセンター」で印象に残ったことは？

●よかったところ

- 平屋でエレベーターがなく、管理費がかからないのが良いと思った。
- 天窓が多用されており、自然光で明るい感じがした。
- 木を多く用いており、参考にしたいと思った。

●よくなかったところ

- 図書館の部分がなく、城端では、図書スペースの広さが必要となり、加える必要がある。

2. 射水市「救急薬品市民交流プラザ」で印象に残ったことは？

●よかったところ

- 最新の設備で、ホールと外がガラス戸を収納して、一体として使用出来るようになっていた。是非、城端でも取り入れたいと思った。

●よくなかったところ

- 市全体の社会福祉協議会や商工会が入居しており、規模が違う感じがした。ホールや会議室等の施設を貸し出しており、会館として使用することが目的だと思った。

3. 視察を通して、今後の具体的な取り組みの検討に是非取り入れたいことについて、その内容と理由をお聞かせください。

- 大庄はコンパクトにまとまっており、参考にしたいと思った。

令和2年3月19日 富山市立大庄地区コミュニティセンター

1. 富山市「大庄地区コミュニティセンター」で印象に残ったことは？

●よかったところ

- ☐ 中央に多目的の部分を位置づけ、左右に目的別の部屋を配置したL字型の建物が印象的である。
- ☐ 高い天井の天窓からの明かりが良い。
- ☐ 会議室、多目的ホールともに、ゆとり感がある。

●よくなかったところ

- ☐ 図書コーナーの図書があまり利用されていないようだった。「置いてある」だけ。

2. 射水市「救急薬品市民交流プラザ」で印象に残ったことは？

●よかったところ

- ☐ 各団体の場所が個室となっている。(市全体の組織であるためと思う)。
- ☐ 会議室…ゆとりを持たせてある。
- ☐ 旧施設の改修利用
- ☐ 共通部分…広くて、解放感がある。

●よくなかったところ

- ☐ 特にない

3. 視察を通して、今後の具体的な取り組みの検討に是非取り入れたいことについて、その内容と理由をお聞かせください。

- ☐ 市営としての複合交流施設とすること。単独、運営は難しい。
- ☐ 使用料以外に収益を上げるような事業は難しいと思う。(地区センターが取組みつつある)
- ☐ 視察した施設では、市民主体の「にぎわい」活動は、感じられなかった。
 - ☐ ○○に、××に使えますよ、というスペースが設けられているという設計になっている。
 - 今の所、それが限界かもしれない。
- ☐ 「こんなことをやりたい」という人を募って、提言実現検討会議に加わってもらおうとワヤワヤになるかな？
 - それを避けるには、上記のやり方しかない。

令和2年3月19日 富山市立大庄地区コミュニティセンター

1. 富山市「大庄地区コミュニティセンター」で印象に残ったことは？
●よかったところ ○ゆったりと開放的な雰囲気な造り ○入口玄関スペースに子どもと高齢者などに低いカウンターと一般の高いカウンター、長イスと小さなテーブルあり良い。血圧測定器が置かれ、待ち時間に健康観察にも良い ○町内回覧書類箱の設置
●よくなかったところ ○ぜいたくな広さと造りの割には、有効利用されていない（特に多目的ホールと和室） ○パンフには、「近くに小学校、幼稚園、保育園あり、子どもから高齢者までの人々に愛される新たな交流活動拠点施設となる」と書かれているが、子どもの立ち寄れる場になっていない。図書コーナーに魅力ある本なし！ ○仕掛けが必要である。 ○所長が大庄地区の方でなく、地元愛着心がない
2. 射水市「救急薬品市民交流プラザ」で印象に残ったことは？
●よかったところ ○商工会を一つに合併、社協を一つに合併、市中心地である事 ○旧小杉福祉会館跡地を、新築ではなくリニューアルした点 ○年末年始以外年中無休で、利用料金が安い点 ○1Fふれあいホールのオープンドアがバリアフリーで素晴らしい。 ○館内土足で入れ、バリアフリー ○1Fキッチンスタジオが外から見える ○屋上が体育館の上のスペースを青空ひろばになっていて有効利用できる
●よくなかったところ ○2Fに、商工会、社協、老人クラブ連合会が各々個室で封鎖的。 オープンスペースに出来なかったのか？ ○3F会議室が、4部屋もあり、無沙なイメージ。 それだけの部屋の需要があるのか、分かった上で設計されたのか
3. 視察を通して、今後の具体的な取り組みの検討に是非取り入れたいことについて、その内容と理由をお聞かせください。
○福沢、大庄、射水の視察に参加して良かった（話を聞き、現地を見学出来た事） ○視察を通して強く思ったのが、それぞれの地域のニーズに応じた施設にする事。 住民のニーズによる為の施設とする為には、住民の意見を取り入れる事！ 城端5地区での住民説明会を早急に開催し、改築なのか新築なのか、住民に理解を得て、建築家と進めていくべき！ ○旧町である城端地区の人は、現在の城端行政センターは旧町役場であり、旧小学校である為思い入れが強く、壊す事に反対らしい。 ○耐震工事がなされている建物であるの、何故壊すのか？という意見あり！！ ○城端に公民館ない→公民館という建物は行政が建設すべき建物である、という意見あり！！